

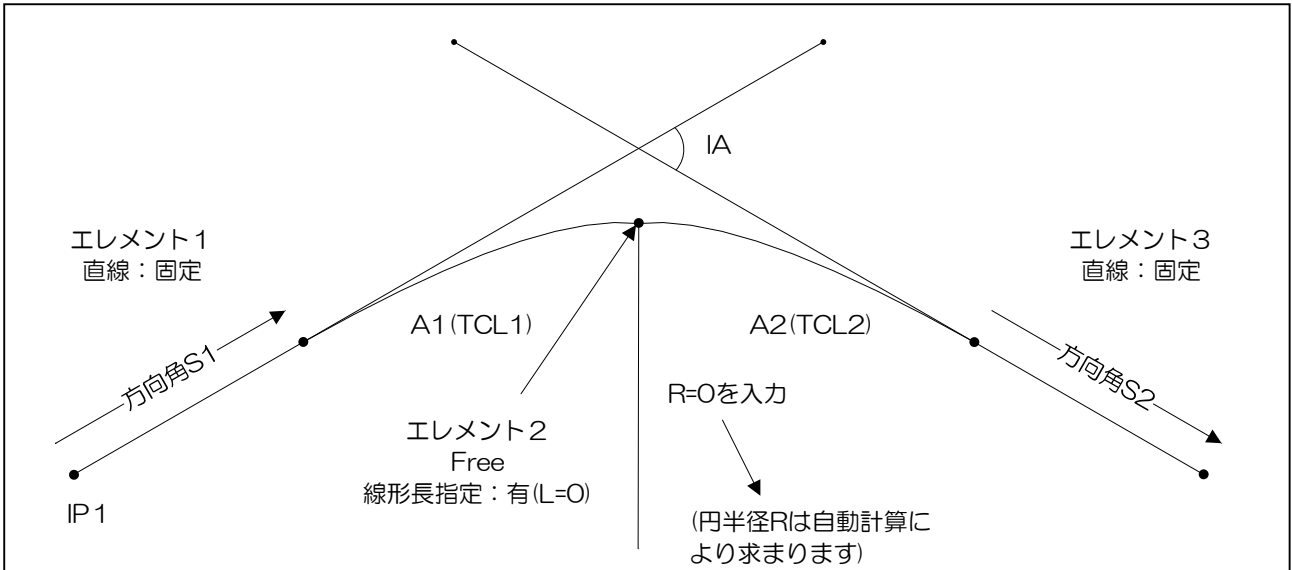
■ 線形関連

Q24: 線形データで凸型(全緩和)の入力を行いたい。

A24: 各入力形式における、凸型(全緩和)の要素入力については以下をご覧ください。

1. エlement固定法

Element固定法での凸型(全緩和)線形は、直線固定Elementに挟まれたFree Elementに対して、半径0、線形長指定あり(L=0)、緩和曲線パラメータA1・A2(または緩和曲線長TCL1・TCL2)を入力する事で計算できます。



Element 区間番号	Element	固定 モード	線形長 指定	緩和曲線 パラメータ A1 (緩和曲線長 TCL1)	半径 R	緩和曲線 パラメータ A2 (緩和曲線長 TCL2)
1	直線	固定	なし	0	0	0
2	円	Free	あり (L=0)	50	0	50
3	直線	固定	なし	0	0	0

下記の入力画面は、上図の凸型(全緩和)区間(Element2)の入力例です。

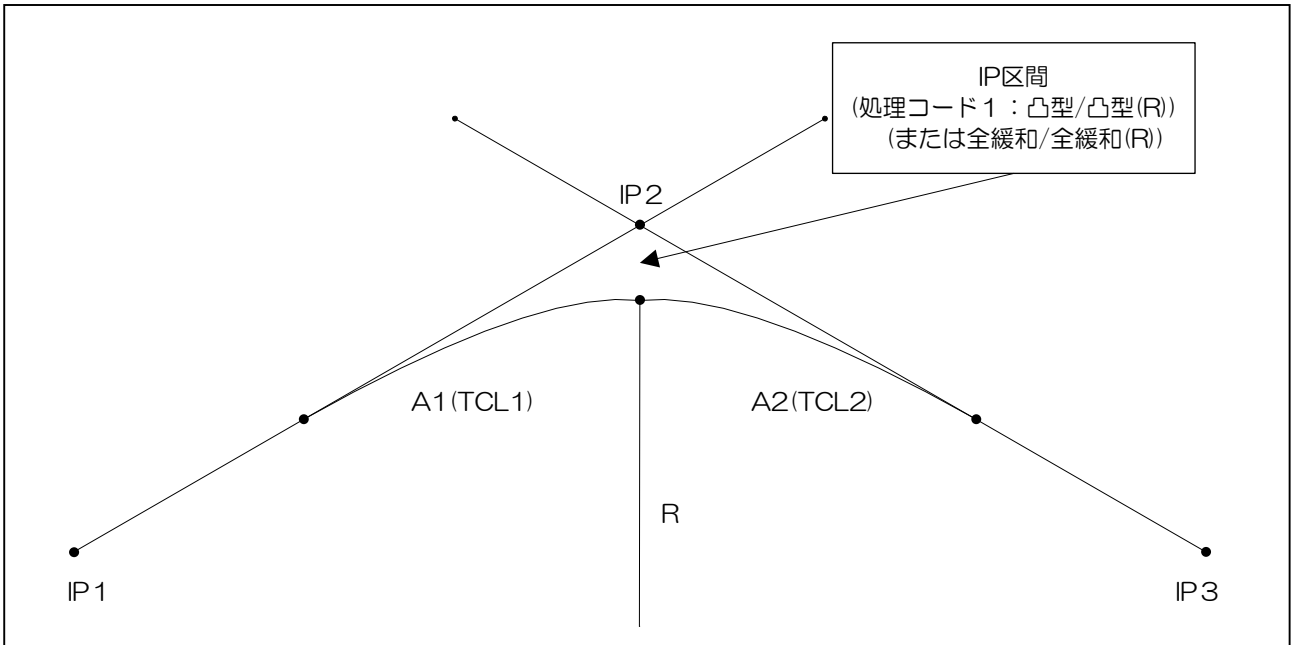
Element2の入力画面

線形長指定有り(L=0)

R=0, A1, A2(TCL1, TCL2)を入力

2. IP法

IP法での凸型(全緩和)線形は、処理コードで「凸型」または「凸型(R)」を選択し、各要素を入力する事で計算できます。
 (APS-RailBIMでは「全緩和」または「全緩和(R)」を選択)



下記の入力画面は、上図のIP区間の入力例です。「凸型」(「全緩和」)を選択しています。

IP区間の入力画面

要素入力 - IP区間:BP-IR1-EP

凸型の処理コードを選択

処理コード

なし 卵型(CL) S型 凸型
 基本型 卵型 反向 凸型(R)

R方向反転 線形長を入力する項目 N1

A1 50.000000

A2 50.000000

IP区間の入力画面(APS-RailBIMの場合)

要素入力 - IP区間:BP-IR1-EP

全緩和の処理コードを選択

処理コード

なし 複心(CL) S型 全緩和
 基本型 複心 反向 全緩和(R)

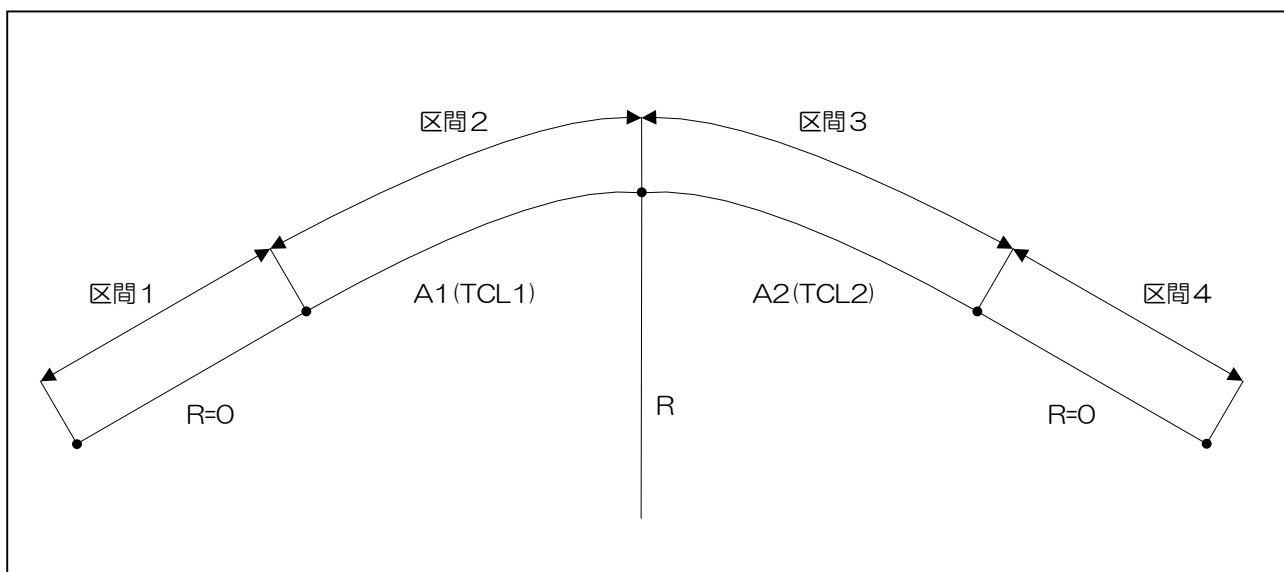
R方向反転 線形長を入力する項目 N1

A1 50.000000

A2 50.000000

3. 片押し法・座標読取法

片押し法・座標読取法での凸型(全緩和)線形は、線形要素を入力する事で計算できます。



区間 番号	要素	始点半径	緩和曲線 パラメータ (緩和曲線長)	終点半径
1	直線	0	0	0
2	緩和曲線	0	50	100
3	緩和曲線	100	50	0
4	直線	0	0	0